

流域をまもり、都市をつくる

フォーラム

入場無料

私たちの生活と川は切り離せない関係にあります。川の流域をまもりつつ、都市をつくるために国と大学と市民が連携してすべきこと、できることは何でしょうか。

平成24年12月26日、国土交通省中部地方整備局と名古屋工業大学はこれまでの活発な研究交流や情報交換を土台として今後一層の連携関係を深めていくために「連携・協力に関する協定」を締結しました。今後、防災、環境、社会基盤整備に関する研究開発・情報交換・研修などを通して地域防災力の向上、地域社会の発展に貢献することを目指します。

本フォーラムでは、庄内川とその流域に焦点をあて、行政と大学の取組みを紹介するとともに、防災・環境・コミュニケーションの観点から、都市で生きる私たちの生活と河川との関わり合い、その将来について皆様と一緒に考えていきます。どなたも奮ってご参加下さい。

日時：平成25年 **6月15日(土)** **14:00 ~ 17:00**

会場：名古屋工業大学 講堂2階 講堂会議室

【JR中央線・地下鉄鶴舞線 鶴舞駅より徒歩約7分】

※駐車場はありませんので、公共交通機関にてお越しください。

主催：国土交通省中部地方整備局・国立大学法人名古屋工業大学

定員：先着 150名

※定員を超えた場合は、参加をお断りする場合がございます。その際は、ご記入いただいたTELへ連絡いたします。

プログラム

13:30～ 受付開始

14:00～14:10 開会挨拶 高橋 実(名古屋工業大学長)

14:10～15:25 第1部 庄内川流域圏での取組み

【発表】

- ・宮本健也(中部地方整備局庄内川河川事務所長) 河川管理の実務と展開
- ・藤田素弘(名古屋工業大学大学院教授) 災害時の帰宅交通困難と対策
- ・前田健一(名古屋工業大学大学院教授) 豪雨時の河川堤防の応答と見える化
- ・増田理子(名古屋工業大学大学院准教授) 河川内ピオトープに侵入する外来種の特性
- ・秀島栄三(名古屋工業大学大学院教授) 名駅地区の水防災とインフラ

15:30～16:50 第2部 パネルディスカッション

“都市で生きる私たちの生活と河川との関わり合い
～減災・防災、環境、コミュニケーションの観点から～”

【パネリスト】

- ・浅野和広(中部地方整備局木曾川上流河川事務所長)
- ・伊藤孝行(名古屋工業大学大学院准教授)
- ・関口威人(ジャーナリスト・Risa編集長)
- ・田村秀夫(中部地方整備局企画部長)

【コーディネータ】

- ・富永晃宏(名古屋工業大学大学院教授)

16:50～17:00 閉会挨拶

梅山和成(中部地方整備局長)



庄内川にかかる城箱橋
(春日井市)



名古屋駅



庄内川 河口部

中部地方整備局の取組みを紹介するパネル展示を実施します

■申込方法

FAXまたはE-mailにて職業・所属・役職・氏名・TELをご連絡ください。FAXでのお申し込みは、下記に記入の上、送信してください。

参加申込書

申込締切

平成25年6月7日(金)



052-253-9991



ito-info@ito-woman.com

職業

所属・役職

氏名

TEL

※ご記入いただきました個人情報、本イベントに関連した目的のみに使用させていただきます。

※申込完了メールや参加受付証は発行しておりません。 ※問い合わせ先：有限会社アイ・ティー・オー TEL 052-253-9990